

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		元金・利子 [市債及び公債費事務]										
予算科目	款	3	公債費	項	1	公債費	目	1	2	元金 利子	事業番号	1
事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	下水道 課 庶務 係					課長名		廣瀬裕				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。										施策番号	4 - 1	
【施策名】 市街地の整備										総合計画書 (ページ)	83	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	①市債の借入 ②公債費の償還					①予算額 ②予算額						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	①対象事業費に対する費用を借り入れる。 ②償還表に基づいた償還を行う。					①借入額 ②償還額						
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①起債対象事業の精査 ②償還額の確認と円滑な償還事務					①精査した起債対象事業数 ②償還のために作成した伝票の作成数						
	→											
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標				
2	対象指標	①の数値	①円 ①円	370,900,000 1,251,980,000	185,700,000 1,212,824,000	91,700,000 1,154,389,000						
	成果指標	②の数値	①円 ①円	364,100,000 1,246,322,881	173,700,000 1,211,146,780	90,300,000 1,153,883,519						
	目 標	②の目標値	率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%		
		目標値設定の考え方										
		①借入額が償還額を上回らず、かつ対象事業費に対して限度額まで借り入れる。										
2	活動指標	③の数値	①件 ②回	4 40	3 42	3 42						
3	事業費(実績)		円	1,246,322,881	1,211,146,780	1,153,883,519	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	380,024,697	379,166,430	574,376,750						
		特定財源	円	866,298,184	831,980,350	579,506,769						
			(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000						
		職員人件費(再任用)	円									
		事業費+人件費	円	1,247,148,181	1,211,971,180	1,154,714,519						
4 環境変化等	(1) 開始年度		50 年度									
	(2) 環境の変化											
			市の下水道事業については、昭和50年度に生活環境の改善と浸水の防除を目的として荒川右岸東京流域下水道管連公共下水道事業を開始しており、係る市債を昭和48年度に初めて借入れている。 現在では下水道普及率が99.9%となり、主に下水道施設の維持管理や今後の更新計画の策定等を進めている。									

事業名称	元金・利子 [市債及び公債費事務]			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名 廣瀬裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	公債費については減少傾向が続いているが、今後の下水道施設の更新に係る財源の1つとして市債を検討することが必要となる。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	今後も償還額に対し借入額が上回らないように留意する必要がある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	償還額に対し借入額が上回らないように起債した。	
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	施策名：市街地の整備	
	<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】 将来負担の軽減のため、借入額の抑制を図る。	
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
平成30年度に策定した「公共下水道ストックマネジメント基本計画」を今後の更新計画の基礎とし、また、令和2年4月1日の地方公営企業会計への移行により既存施設の把握や経営状況の把握に努める。		